

令和3年度 松戸市社会教育計画年度報告書(第一次計画)

松戸市社会教育計画は、すべての市民の学びを保障し、松戸市の将来像や市民が潤いのある生活をするために、社会教育行政が果たす役割と方向性を示す計画です。本計画では、「市民一人ひとりが、いつでも どこでも 必要に応じた学習活動を積極的に行うことができ、その学習の成果を自らの人生や地域社会の活性化に生かすことのできる」という基本理念を実現していくために4つの基本目標を掲げ、基本目標ごとに施策を設けて事業を推進しております。

この年度報告書は、PDCAサイクルに基づき、各施策に対する各課の事業内容(Plan)に対し、事業の「実施状況(Do)」の点検、評価を行い、「事業の進捗や成果が適切で目標実現に寄与しているか」との視点から、各所属において、

「A:施策の目標どおり推進できた」

「B:施策について概ね順調に推進している」

「C:施策について進捗は遅れている又は未実施」

の三段階で定性評価(Check)を行うとともに、自己評価を受けて、事業がより推進していけるよう「課題と方向性(Action)」を示したものである。

基本目標1 市民の多様なニーズに応え、地域の課題や歴史・文化・伝統に気付く学習機会の充実

P1~P9

(1)地域の特色の活用や課題解決に資する学習機会の提供と専門的職員の資質向上・適切な配置

P1~3

評価の割合	H28		H29		H30		R1		R2		R3	
A	4 / 9	44.4%	4 / 9	44.4%	5 / 9	55.6%	4 / 9	44.4%	4 / 8	50.0%	3 / 10	30.0%
B	4 / 9	44.4%	5 / 9	55.6%	4 / 9	44.4%	5 / 9	55.6%	4 / 8	50.0%	7 / 10	70.0%
C	1 / 9	11.1%	0 / 9	0.0%	0 / 9	0.0%	0 / 9	0.0%	0 / 8	0.0%	0 / 10	0.0%

(2)勤労者や学生などのライフスタイルに対応した学習機会の提供

P4

評価の割合	H28		H29		H30		R1		R2		R3	
A	2 / 2	100.0%	2 / 2	100.0%	1 / 2	50.0%	1 / 2	50.0%	1 / 2	50.0%	0 / 2	0.0%
B	0 / 2	0.0%	0 / 2	0.0%	1 / 2	50.0%	1 / 2	50.0%	1 / 2	50.0%	2 / 2	100.0%
C	0 / 2	0.0%	0 / 2	0.0%	0 / 2	0.0%	0 / 2	0.0%	0 / 2	0.0%	0 / 2	0.0%

(3)障がい者や高齢者、介護中、育児中など学習に参加しにくい人への支援

P5

評価の割合	H28		H29		H30		R1		R2		R3	
A	3 / 4	75.0%	3 / 4	75.0%	4 / 4	100.0%	3 / 4	75.0%	1 / 1	100.0%	1 / 1	100.0%
B	1 / 4	25.0%	1 / 4	25.0%	0 / 4	0.0%	1 / 4	25.0%	0 / 1	0.0%	0 / 1	0.0%
C	0 / 4	0.0%	0 / 4	0.0%	0 / 4	0.0%	0 / 4	0.0%	0 / 1	0.0%	0 / 1	0.0%

(4)松戸の歴史・文化・伝統を学習する活動の推進

P6~7

評価の割合	H28		H29		H30		R1		R2		R3	
A	1 / 8	12.5%	2 / 7	28.6%	5 / 7	71.4%	5 / 7	71.4%	4 / 7	57.1%	6 / 7	85.7%
B	7 / 8	87.5%	5 / 7	71.4%	2 / 7	28.6%	2 / 7	28.6%	3 / 7	42.9%	1 / 7	14.3%
C	0 / 8	0.0%	0 / 7	0.0%	0 / 7	0.0%	0 / 7	0.0%	0 / 7	0.0%	0 / 7	0.0%

(5)人間としての尊厳を大切にされた多文化共生の学習機会の提供

P8

評価の割合	H28		H29		H30		R1		R2		R3	
A	3 / 3	100.0%	3 / 3	100.0%	3 / 3	100.0%	3 / 3	100.0%	1 / 1	100.0%	1 / 1	100.0%
B	0 / 3	0.0%	0 / 3	0.0%	0 / 3	0.0%	0 / 3	0.0%	0 / 1	0.0%	0 / 1	0.0%
C	0 / 3	0.0%	0 / 3	0.0%	0 / 3	0.0%	0 / 3	0.0%	0 / 1	0.0%	0 / 1	0.0%

(6)市内各大学や民間団体などと連携した学習機会の提供

P9

評価の割合	H28		H29		H30		R1		R2		R3	
A	2 / 3	66.7%	2 / 3	66.7%	2 / 3	66.7%	2 / 3	66.7%	1 / 2	50.0%	0 / 2	0.0%
B	1 / 3	33.3%	1 / 3	33.3%	1 / 3	33.3%	1 / 3	33.3%	1 / 2	50.0%	1 / 2	50.0%
C	0 / 3	0.0%	0 / 3	0.0%	0 / 3	0.0%	0 / 3	0.0%	0 / 2	0.0%	1 / 2	50.0%

基本目標2 市民を惹き付け、広く行き渡る情報提供・相談

P10~P15

(1)情報の周知、情報を得る方策への配慮

P10~12

評価の割合	H28		H29		H30		R1		R2		R3	
A	9 / 16	56.3%	9 / 16	56.3%	11 / 16	68.8%	11 / 16	68.8%	11 / 16	68.8%	12 / 16	75.0%
B	6 / 16	37.5%	6 / 16	37.5%	5 / 16	31.3%	5 / 16	31.3%	5 / 16	31.3%	4 / 16	25.0%
C	1 / 16	6.3%	1 / 16	6.3%	0 / 16	0.0%	0 / 16	0.0%	0 / 16	0.0%	0 / 16	0.0%

(2)ICTを活用した情報提供の促進

P13

評価の割合	H28		H29		H30		R1		R2		R3	
A	1 / 3	33.3%	2 / 3	66.7%	2 / 3	66.7%	1 / 3	33.3%	1 / 3	33.3%	1 / 3	33.3%
B	2 / 3	66.7%	1 / 3	33.3%	1 / 3	33.3%	2 / 3	66.7%	2 / 3	66.7%	2 / 3	66.7%
C	0 / 3	0.0%	0 / 3	0.0%	0 / 3	0.0%	0 / 3	0.0%	0 / 3	0.0%	0 / 3	0.0%

(3)学習相談体制の充実

P14~15

評価の割合	H28		H29		H30		R1		R2		R3	
A	3 / 7	42.9%	4 / 7	57.1%	4 / 7	57.1%	4 / 7	57.1%	3 / 7	42.9%	6 / 8	75.0%
B	3 / 7	42.9%	3 / 7	42.9%	3 / 7	42.9%	3 / 7	42.9%	4 / 7	57.1%	1 / 8	12.5%
C	1 / 7	14.3%	0 / 7	0.0%	0 / 7	0.0%	0 / 7	0.0%	0 / 7	0.0%	1 / 8	12.5%

基本目標3 学習者の学習成果を地域に生かす仕組みづくり

P16~P20

(1)地域の人材を発掘・育成し、活動を支援するシステムづくり

P16

評価の割合	H28		H29		H30		R1		R2		R3	
A	2 / 6	33.3%	5 / 6	83.3%	6 / 6	100.0%	6 / 6	100.0%	1 / 3	33.3%	2 / 3	66.7%
B	4 / 6	66.7%	1 / 6	16.7%	0 / 6	0.0%	0 / 6	0.0%	2 / 3	66.7%	1 / 3	33.3%
C	0 / 6	0.0%	0 / 6	0.0%	0 / 6	0.0%	0 / 6	0.0%	0 / 3	0.0%	0 / 3	0.0%

(2)施設の整備及び施設連携や施設機能の活用方法の周知などによる利用促進

P17~19

評価の割合	H28		H29		H30		R1		R2		R3	
A	5 / 15	33.3%	5 / 15	33.3%	7 / 15	46.7%	7 / 15	46.7%	5 / 15	33.3%	10 / 14	71.4%
B	7 / 15	46.7%	9 / 15	60.0%	8 / 15	53.3%	8 / 15	53.3%	10 / 15	66.7%	4 / 14	28.6%
C	3 / 15	20.0%	1 / 15	6.7%	0 / 15	0.0%	0 / 15	0.0%	0 / 15	0.0%	0 / 14	0.0%

(3)学習意欲を喚起し、自己実現を実感できるステージへの誘導

P20

評価の割合	H28		H29		H30		R1		R2		R3	
A	5 / 6	83.3%	5 / 6	83.3%	5 / 6	83.3%	5 / 6	83.3%	2 / 4	50.0%	1 / 3	33.3%
B	1 / 6	16.7%	1 / 6	16.7%	1 / 6	16.7%	1 / 6	16.7%	2 / 4	50.0%	2 / 3	66.7%
C	0 / 6	0.0%	0 / 6	0.0%	0 / 6	0.0%	0 / 6	0.0%	0 / 4	0.0%	0 / 3	0.0%

基本目標1 市民の多様なニーズに応え、地域の課題や歴史・文化・伝統に気付く学習機会の充実

No.	施策	事業名	事業内容	実施状況	定性評価	新所属	旧
1	(1)地域の特色の活用や課題解決に資する学習機会の提供と専門的職員の資質向上・適切な配置	学習機会提供事業(P32)(各種講座開催)	市民が趣味や教養を高めるなど自己を充実することをはじめ、生活上の課題や地域課題を解決することができるよう、各種学習の機会を提供する。 ・まつど生涯学習大学講座 ・生涯学習講座(庁内連携・地域連携・大学連携など)	〈実施内容〉 市民一人一人が自己を充実することをはじめ郷土の歴史や文化を知り、主体的に地域課題に関心をもって地域共生社会の実現に取り組むことができるような各種学習の機会を提供する。 〈実施状況〉 新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み中止した講座もあったが、生涯学習講座では、新しい生活様式の下でハイブリット型のオンライン配信講座の実施・関係機関との連携講座を積極的に実施した。 【講座参加者数】※参加者は全て延べ人数 R3:延べ1,406人 ・内訳 まつど生涯学習大学講座 590人 小金原地区連携 スマートフォン活用講座【全10回】 149人 男女共同参画課連携 防災講演会(オンライン限定講座) 47人 防災講演会(ワークショップ)【全2回】 11人 文化ホール活用講座【全2回】 102人 まつどでつながるプロジェクト連携 小学校入学前セミナー 38人 女性外交官の眼から見た世界&世界の中の女性【全5回】 469人	B	社会教育課	生涯学習推進課
2	(1)地域の特色の活用や課題解決に資する学習機会の提供と専門的職員の資質向上・適切な配置	社会教育活動支援事業(P32)	市民の自主的な社会教育活動の振興を図るため、社会教育関係団体への支援を行う。 ・施設使用料等の減免、共催、後援 ・広報掲載(行事案内、会員募集) ・ポスター掲出・視聴覚ライブラリーを無料で貸し出し	〈実施内容〉 市民の自主的・自立的な学びの推進を図るため、社会教育関係団体の活動を支援する。 〈実施状況〉 ・公民館使用料等の減免: 10割減免(社会教育関係団体)R3:1,333件 R2:1,069件 3割減免(社会福祉団体等) R3:1件 R2:0件 ・共催・後援 R3:52件 R2:32件 ・広報掲載 R3:196件 R2:138件 (4/1~3/15号:行事案内、会員募集など) ・ポスター掲出 R3:26件 R2:13件 ・視聴覚ライブラリー貸し出し R3:215件 R2:153件	B	社会教育課	生涯学習推進課
3	(1)地域の特色の活用や課題解決に資する学習機会の提供と専門的職員の資質向上・適切な配置	図書館管理運営事業(P32)	課題解決のために多様な情報の提供を図るとともに、市民の自主的な学習活動を支援するため、調べ方案内の提供や情報活用能力の育成を図ります。	・資料の寄贈を受け、郷土資料の充実が図られた。 ・開架資料の選定や複本冊数の適正化などを積極的に行い、多様な情報の提供のための蔵書構築を進めた。 ・東松戸地域館にて、ビジネス支援コーナー・健康医療情報コーナーを設置し、課題解決支援のための情報提供を実施した。	A	図書館	図書館
4	(1)地域の特色の活用や課題解決に資する学習機会の提供と専門的職員の資質向上・適切な配置	社会教育専門的職員の資質向上・適切な配置(P32)	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるように、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める ・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実	専門的職員の資質向上については、教育企画課で取りまとめている派遣研修計画に基づく研修及び、各課の予算による派遣研修を行うことで専門的職員への一定の研修機会は確保できている。 派遣研修計画に基づく研修件数…1件	A	教育総務課	教育企画課

基本目標1 市民の多様なニーズに応え、地域の課題や歴史・文化・伝統に気付く学習機会の充実

No.	施策	事業名	事業内容	実施状況	定性評価	新所属	旧
5	(1)地域の特色の活用や課題解決に資する学習機会の提供と専門的職員の資質向上・適切な配置	社会教育専門的職員の資質向上・適切な配置 (P32)	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める ・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実	文化財については、他分野に渡る専門的知識の修得のため、文化財担当学芸員に加え、事務職員も千葉県や千葉県北西部地区文化財行政担当者連絡協議会などの研修会や研究会に参加し、資質向上を図った。 ・R3文化財に係る研修会及び研究会参加人数:延べ10人(7件)[R2同参加人数:延べ9人(8件)]→コロナ禍により研修自体の中止が多かったため	B	文化財保存活用課	社会教育課
6	(1)地域の特色の活用や課題解決に資する学習機会の提供と専門的職員の資質向上・適切な配置	社会教育専門的職員の資質向上・適切な配置 (P32)	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める ・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実	令和3年度は国立教育政策研究所社会教育実践研究センターが主催する「社会教育主事講習」に職員を派遣することができなかった。 ・社会教育主事の発令を受けている職員 R3:2人/18人 (R2:2人/18人)	B	社会教育課	社会教育課
7	(1)地域の特色の活用や課題解決に資する学習機会の提供と専門的職員の資質向上・適切な配置	社会教育専門的職員の資質向上・適切な配置(P32)	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める ・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実	社会教育主事資格取得のために講習会へ職員を派遣するとともに、職員の資質向上を図るため必要な研修機会を充実させた。 ・社会教育主事の発令を受けている職員:5人/14人 ・新たに「社会教育主事講習会(社会教育実践研究センター)」を受講した職員:1名	B	社会教育課	生涯学習推進課
8	(1)地域の特色の活用や課題解決に資する学習機会の提供と専門的職員の資質向上・適切な配置	社会教育専門的職員の資質向上・適切な配置 (P32)	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める ・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実	・ビジネス・ライブラリアン講習会をはじめ、さまざまな外部研修への派遣及びオンライン受講を行うことで、職員の専門性の向上を図った。 職員受講研修数(庁内研修除く) R3:20回 R2:21回	A	図書館	図書館

基本目標1 市民の多様なニーズに応え、地域の課題や歴史・文化・伝統に気付く学習機会の充実

No.	施策	事業名	事業内容	実施状況	定性評価	新所属	旧
9	(1)地域の特色の活用や課題解決に資する学習機会の提供と専門的職員の資質向上・適切な配置	社会教育専門的職員の資質向上・適切な配置(P32)	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域の課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める ・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実	令和元年度から、退職不補充等により学芸員2→1名に減員となったため、展示・研究等、学芸業務について会計年度任用職員(学芸員や研究員)のサポートはあるものの、実質正規職員1名で担っており、事務業務の負担も多くあることから、外部研修等への参加が難しい状況が続いている。 連携を図った他史料館との交流を通じて、専門的知識の共有や情報交換を行い、資質向上に努めた。 学習支援専門員については、市内小中学校等への出前授業と校外学習を実施し、地域への教育普及活動の充実を図った。	B	戸定歴史館	戸定歴史館
10	(1)地域の特色の活用や課題解決に資する学習機会の提供と専門的職員の資質向上・適切な配置	社会教育専門的職員の資質向上・適切な配置(P32)	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域の課題に学習機会や、学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める。 ・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実	博物館には、高い専門的技能を持つ学芸員の存在が不可欠であり、資料の収集・保管など、専門的知識・技術の習得、知識の向上を図ることを目的として、各種研修会に参加した。 ・研修会参加実績 R3年度(2回) R2年度(0回) ※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止。	B	博物館	博物館

基本目標1 市民の多様なニーズに応え、地域の課題や歴史・文化・伝統に気付く学習機会の充実

No.	施策	事業名	事業内容	実施状況	定性評価	新所属	旧
11	(2)勤労者や学生などのライフスタイルに対応した学習機会の提供	学習機会提供事業(P33)(基礎学力再履修講座開催)	市民の学習意欲を喚起し継続した学習への取り組みの一助となるための学習講座を開催する。また科目の中で【松戸】を取り上げ、市が行っている様々な施策等を知ってもらう機会とする。	<p>・やさしい教養講座 カリキュラム 松戸(月1回のみ)、国語・数学(算数)・英語・社会(1教科20名) R3:授業開催数:延べ161回 受講生:135人 延べ1,896人</p> <p>【参考:基礎学習講座】 ・基礎学習講座 カリキュラム 国語・数学(算数)・英語・社会(1教科24名) R2:授業開催数:延べ131人 受講生:80人 延べ1,284人 修了書授与者0人 R1:授業開催数:延べ643人 受講生:101人 延べ8,146人 修了書授与者88人</p> <p>※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、前期すべてを中止し、分割授業などを活用し再開した後期も途中の打ち切りとしたため、修了書を配布しなかった。</p>	B	社会教育課	生涯学習推進課
12	(2)勤労者や学生などのライフスタイルに対応した学習機会の提供	学習機会提供事業(P33)(各種講座開催)(一部再掲(P32))	【生涯学習講座】 働く人々等を対象とした、新しい自己の発見と充実した生活、人間関係の広がりをめざした学習の場として開催する。 (昼間・夜間・週末に実施)	<p>〈実施内容〉 市民一人一人が自己を充実することをはじめ郷土の歴史や文化を知り、主体的に地域課題に関心をもって地域共生社会の実現に取り組むことができるような各種学習の機会を提供する。</p> <p>〈実施状況〉※再掲 【講座参加者数】※参加者は全て延べ人数 R3:延べ1,406人</p> <p>・内訳 まつど生涯学習大学講座 590人 小金原地区連携 スマートフォン活用講座【全10回】 149人 男女共同参画課連携 防災講演会(オンライン限定講座) 47人 防災講演会(ワークショップ)【全2回】 11人 文化ホール活用講座【全2回】 102人 まつどでつながるプロジェクト連携 小学校入学前セミナー 38人 女性外交官の眼から見た世界&世界の中の女性【全5回】 469人</p>	B	社会教育課	生涯学習推進課

基本目標1 市民の多様なニーズに応え、地域の課題や歴史・文化・伝統に気付く学習機会の充実

No.	施策	事業名	事業内容	実施状況	定性評価	新所属	旧
13	(3)障がい者や高齢者、介護中、育児中など学習に参加しにくい人への支援	図書館管理運営事業(P34) (身体障害者図書貸出等)(一部再掲(p32))	病院等施設(病院及び老人ホーム)に入院・入所して図書館利用に困難な状況にある方々への巡回サービスを実施し、市民が「等しく」利用できる図書館を目指している。また、身体障害者及びねたきりの方々に対しても、図書の宅配サービスを行う。	施設巡回サービスについては、令和2年6月から実施している資料の引渡し方法を工夫し貸出するサービスを継続している。宅配サービスについても同年6月から感染予防を講じたうえで、サービスを実施している。 ・施設巡回サービス 登録施設数 R3 : 21施設 R2 : 21施設 巡回施設数 R3 : 19施設 R2 : 15施設 巡回回数 R3 : 222回 R2 : 174回 延利用者数 R3 : 981人 R2 : 1,310人 貸出冊数 R3 : 4,015冊 R2 : 3,578冊 ・宅配サービス 登録者数 R3 : 40人 R2 : 50人 延利用者数 R3 : 316人 R2 : 288人 貸出冊数 R3 : 1,108冊 R2 : 1,045冊	A	図書館	図書館
14	(3)障がい者や高齢者、介護中、育児中など学習に参加しにくい人への支援	青少年活動支援事業(P34)	【青年学級講座】 特別支援学級を卒業した人を対象に、自立、余暇活動の充実、仲間づくりを支援し、社会的連帯感を高め、ていく機会として開催する。	〈実施内容〉 特別支援学級の卒業者及び家族等の自主活動を支援し、自立、余暇活動の充実、仲間づくりにつなげる。 〈実施状況〉 青年学級では、市内の就労支援施設等へチラシ配布などを行っていたが、新たな参加者が少なく参加者の固定化、高齢化が進行していた。そのため団体としての自立に向けた支援を行い、令和3年度より市としての支援を停止した。	—	社会教育課	生涯学習推進課
15	(3)障がい者や高齢者、介護中、育児中など学習に参加しにくい人への支援	学習機会提供事業(P34) (各種講座開催)(一部再掲(P32))	【まつど生涯学習大学講座】 60歳以上の人を対象に、自らの生活課題や社会的課題に即した学習をもとに、地域の主体的な行動者となることを期して開催する。	まつど生涯学習大学講座は、前年度の提案委員会において検討したテーマをもとに開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、提案委員会は中止した。	—	社会教育課	生涯学習推進課
16	(3)障がい者や高齢者、介護中、育児中など学習に参加しにくい人への支援	家庭教育力向上事業(P34)(子育て学習開催)	家庭の教育力回復支援事業の一環として、孤立した環境の中で子育てをしている市民や育児に参加する時間の少ない保護者に、子育てに関する情報や学習の機会を提供し、参加をサポートする。	〈実施内容〉 未就学児の保護者を対象とし幼保小の連携により、就学期に向けて必要とされる内容などの学びの機会を提供する。 〈実施状況〉 講座体系の変更によりNo1「生涯学習講座」に統合。	—	社会教育課	生涯学習推進課

基本目標1 市民の多様なニーズに応え、地域の課題や歴史・文化・伝統に気付く学習機会の充実

No.	施策	事業名	事業内容	実施状況	定性評価	新所属	旧
17	(4)松戸の歴史・文化・伝統を学習する活動の推進	文化財保護事業(P35)	文化財の保護啓発活動に努めるとともに、学習資料として文化財マップの作成、埋蔵文化財調査報告書の刊行、史跡めぐりや講座などを行う。学校教育と連携し、市内小中学校教材「のびゆく松戸市」「われらの松戸」に市内の文化財等を紹介する。	松戸の歴史、文化、伝統を学習する活動の学習資料として、文化財マップの配布、埋蔵文化財調査報告書の刊行を行った。さらに、文化財の保護啓発活動のため、松戸市ホームページへの掲載や雑誌掲載の記事提供などを行った。コロナ禍により、例年実施している史跡めぐりは実施できなかったが、その代替りになる事業として文化財クイズラリーを実施し、全問正解者は史跡めぐり1回分に相当する人数となった。 ・R3:史跡めぐり→コロナ禍により中止 代替事業として文化財クイズラリーを実施 全問正解者77人 R2:史跡めぐり→コロナ禍により中止 代替事業として文化財クイズラリーを実施 全問正解者53人 (参考)R1:史跡めぐり参加者数 延べ89人 (3回(6日間)開催[内1回は親子史跡めぐり]) ・R3:新規刊行物 報告書3種類 R2:新規刊行物 報告書2種類	A	文化財保存活用課	社会教育課
18	(4)松戸の歴史・文化・伝統を学習する活動の推進	戸定歴史館管理運営事業(P35)	国指定重要文化財「旧徳川家松戸戸定邸」、国指定名勝「旧徳川昭武庭園(戸定邸庭園)」の公開と、水戸藩最後の藩主であり、江戸幕府最後の将軍徳川慶喜の弟である徳川昭武の事跡を中心に数ヶ月に一度の割合で内容を変更しながら歴史館において展示会を開催し、市民の学習及び文化、芸術活動の場を提供する。	戸定邸を建てた徳川昭武と、NHK大河ドラマ「青天を衝け」の主人公・渋沢栄一との関わりを通常のテーマとして、年3回の展示会を開催した。2期目を企画展とし、大河ドラマの放映に合わせて1867年のパリ万博を中心に構成・展示した。また、コロナ禍によりイベント関係の開催が難しい状況が続いたが、「科学と芸術の丘」など、市長部局との連携のもと戸定が丘全体を用いたイベントも実施され、市民の文化・芸術活動の充実に寄与した。 ・展示会期間(256日間) ・展示会期間中の入館者数:戸定歴史館25,560人、戸定邸30,697人、合計56,257人(前年度28,480人) ※コロナ禍により、R3.4.29~10.25は入館人数の制限実施。	A	戸定歴史館	戸定歴史館
19	(4)松戸の歴史・文化・伝統を学習する活動の推進	博物館展示事業(P35)	総合展示・主題展示・野外展示で構成し、市民に郷土の歴史と文化への理解を深める機会を提供する。	郷土の歴史と文化に関連する資料・情報の収集、保管、研究を基盤にして、展示を実施している。 ・常設展示観覧者数 (総合展示・主題展示) R3年度(延べ18,636人) R2年度(延べ12,389人) (野外展示※竪穴住居) R3年度(延べ19,037人) R2年度(延べ12,020人)	A	博物館	博物館
20	(4)松戸の歴史・文化・伝統を学習する活動の推進	博物館学習支援事業(P35)	歴史講座等の開催、デジタル情報の提供、学校教育との連携などを図り、松戸の歴史・文化等に関わる最新情報を様々な媒体を通して提供する。	松戸市の歴史・文化の講座及び学校教育での博物館の利用を促進するため見学会を行うなど学校教育との連携を深めている。 ・歴史講座 R3年度:古文書を読む「近世入門編」他3講座 延べ309人(20回開催) R2年度:吾妻鏡を読むのみ開催、延べ119人(5回開催) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、他講座は中止。 ・見学(学習活動) R3年度:(常設展示観覧者) 延べ1,297人 R2年度:(常設展示観覧者) 延べ1,170人	A	博物館	博物館
21	(4)松戸の歴史・文化・伝統を学習する活動の推進	博物館歴史資産収集調査事業(P35)	松戸を中心とする歴史・文化等に関する資料の収集・保存および調査研究を行い、市民の共有の資産として後世に伝える。	博物館資料として寄贈・寄託を受け、収集・保存を行うなど、市内所在における古文書の調査を実施した(古文書調査委託)。また、資料研究の成果として紀要第29号を発行した。 ・寄贈 R3年度(6件・133点) R2年度(3件・104点) ・寄託 R3年度(1件・531点) R2年度(1件・531点)	A	博物館	博物館

基本目標1 市民の多様なニーズに応え、地域の課題や歴史・文化・伝統に気付く学習機会の充実

No.	施策	事業名	事業内容	実施状況	定性評価	新所属	旧
22	(4)松戸の歴史・文化・伝統を学習する活動の推進	図書館管理運営事業(P35) (郷土資料提供) (再掲(P32))	郷土資料等の郷土の歴史と文化に関する資料を積極的に収集・保存し提供する。	<ul style="list-style-type: none"> 郷土資料の収集を積極的に行い、蔵書の充実を図った。 郷土資料の受入冊数 R3:697冊 R2:570冊 郷土資料の寄贈を受け、歴史及び文化を伝承するための蔵書構築に努めた。 東松戸地域館にて郷土資料「まちテラス」コーナーを設置した。 	A	図書館	図書館
23	(4)松戸の歴史・文化・伝統を学習する活動の推進	美術文化関係事業(P36)	美術館等の開設を準備するとともに、松戸ゆかりの美術についての調査及び優れた美術品等の収集、保存、公開を行う。	<p>松戸ゆかりの美術作品や資料等についての調査、収集、保存管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査:松戸ゆかりの美術家の作品調査 追加調査:4人(R2年度6人) 松戸の美術作家に関するアンケート調査 追加調査:11人(R2年度6人) 収集:寄贈211点(R2年度:寄贈23点) 保存:美術作品、資料等の整理、燻蒸業務、修復業務、保管業務 公開:◎「松戸の作家の個展」の開催 ◎「松戸の作家の紹介講座」の開催 ※詳細は2事業とも「10基本目標3施策(3)」に記載 その他:『板倉鼎・須美子書簡集』に加え、smokebooksにおいて、過去に開催した展覧会図録の販売を開始 市内外3書店等(良文堂書店・smokebooks・藝大アートプラザ) 	B	文化財保存活用課	社会教育課

基本目標1 市民の多様なニーズに応え、地域の課題や歴史・文化・伝統に気付く学習機会の充実

No.	施策	事業名	事業内容	実施状況	定性評価	新所属	旧
24	(5)人間としての尊厳を大切にした多文化共生の学習機会の提供	人権学習の推進(P36)	自分や自分以外すべての人たちの人権や生き方を考える講座や、直接的に人権をテーマとしていない講座であっても、可能な限りプログラムに人権課題を加えた講座を実施する。	<p>〈実施内容〉 松戸市の人権尊重都市宣言に基づき、男女共同参画や多文化共生、こども、高齢者、障害者などの人権が尊重される地域社会を担う市民の育成、学びの環境を整備する。</p> <p>〈実施状況〉 講座体系の変更によりNo1「生涯学習講座」に統合。</p>	—	社会教育課	生涯学習推進課
25	(5)人間としての尊厳を大切にした多文化共生の学習機会の提供	青少年会館学習機会提供事業(P36)	<p>【国際交流事業】 諸外国の生活・文化・風習に触れ、国際的な視野を広げ、人権や平和についても考える交流学習の機会を提供する。</p>	<p>〈実施内容〉 【多文化共生の学びの推進】 多文化共生についての学びの機会や環境を整備し、青少年育成を図る。</p> <p>〈実施状況〉 【国際交流事業】 ホワイトホース市・松戸市姉妹都市交流50周年記念として、「英語でオーストラリアどうぶつ教室とペーパーマッシュ工作体験」、「SDGsを学ぶ！オーガニックみつろうエコラップづくり」講座を実施 オーストラリアの文化の紹介や、ものづくりを通して、英語での絵本の読み聞かせやアメリカの文化の紹介を通して、異国の国への理解や興味関心を深めることができた。</p> <p>受講者:延べ85名</p>	A	社会教育課	生涯学習推進課

基本目標1 市民の多様なニーズに応え、地域の課題や歴史・文化・伝統に気付く学習機会の充実

No.	施策	事業名	事業内容	実施状況	定性評価	新所属	旧
26	(6)市内各大学や民間団体などと連携した学習機会の提供	学習機会提供事業(P37) (各種講座開催) (一部再掲(P32))	【市民大学講座】 現在社会のさまざまな課題を取り上げ、地元大学や民間団体とも連携を取りながら開催する。	市民に市内大学の施設を会場として、現代社会の様々な課題について、より専門性の高い内容の講座を提供するとともに、各大学の地域貢献活動に協力することを目的として、企画・実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止及び各大学との調整の結果全面的に中止した。 〈実施状況〉 講座体系の変更によりNo1「生涯学習講座」に統合。	—	社会教育課	生涯学習推進課
27	(6)市内各大学や民間団体などと連携した学習機会の提供	地元の大学との連携方策の検討(P37)	市内各学が行う社会教育にかかわる学習機会の提供事業や各大学との連携により、市内の社会教育をより充実するための効果的なあり方について検討する。	文化財については、文化財保護啓発活動や文化財調査に際し、市内ほか各大学の専門教員と連携するとともに報告書等を大学に送付し、情報共有を図った。	B	文化財保存活用課	社会教育課
28	(6)市内各大学や民間団体などと連携した学習機会の提供	地元の大学との連携方策の検討(P37)	市内各大学が行う社会教育にかかわる学習機会の提供事業や各大学との連携により、市内の社会教育をより充実するための効果的なあり方について検討する。	公民館運営審議会の委員に市内大学の学識経験者が加わることにより、市民大学講座の開催や各種講座への講師紹介等、大学との様々な連携協力の可能性を含め、市民の生涯学習活動の更なる推進に向けて、意見や助言を頂いた。 ⇒令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策防止のため、書面開催とした。	C	社会教育課	生涯学習推進課

基本目標2 市民を惹き付け、広く行き渡る情報提供・相談

No.	施策	事業名	事業内容	実施状況	定性評価	新	旧
29	(1)情報の周知、情報を得る方策への配慮	広報活動の推進(P38)	社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。	<p>平成29年6月に旧齋藤邸が国の登録有形文化財に登録され、広く市民に生涯学習の場として活用して頂けるよう、松戸市ホームページへの掲載や広報まつど等への掲載をしてきたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各種イベントの中止を決定した。これに対応する施策として旧齋藤邸PR動画を作成し、松戸市ホームページでの公開による周知を図った。</p> <p>文化財の保護・啓発では、松戸市ホームページへの掲載、文化財標識柱・説明板の設置、更新を行い、また学習資料として文化財マップの配布を実施した。文化庁、千葉県文化財課へも文化財の指定状況や活用状況を情報提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財マップ配布数 R3:184部(R2:598部) 文化財標識柱・説明板設置数 R3:138ヶ所(更新2ヶ所) R2:138ヶ所(新規1ヶ所、撤去1ヶ所) <p>美術関係では、展覧会「松戸のたからもの 松戸市の美術コレクション」の開催情報について、ポスターの市内各駅、列車内、市ホームページや電子モニター等へ掲出した。出品作品については、無料の小冊子を作成し、観覧者と市内外関係機関へ頒布した。また、新規の試みとして、展覧会を観覧することができなかった方等のため、会場風景と出品作品の解説を動画で作成し、会期終了後に松戸市ホームページにて公開した。「松戸の作家の個展」については、4回の開催情報を、市ホームページや広報まつど電子モニター等に掲出し、広く周知を図った。併せて、会期毎にリーフレットを作成し、市内外関係機関へ配布した。</p>	B	文化財保存活用課	社会教育課
30	(1)情報の周知、情報を得る方策への配慮	広報活動の推進(P38)	社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。	市のホームページ、広報、ツイッター、パンフレット、チラシによる情報発信に加え、地域に根ざしたタウン情報誌へ情報提供を行った。また、家庭教育に関する情報については、松戸市版幼児家庭教育パンフレットの配布に加え、ケーブルテレビ、デジタルサイネージ、YouTubeで動画を配信しPRをした。	A	社会教育課	生涯学習推進課
31	(1)情報の周知、情報を得る方策への配慮	広報活動の推進(P38)	社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。	市ホームページ、広報まつど、パンフレット、ポスター、チラシによる情報発信に加え、市公式ツイッターへ積極的に投稿した。	A	社会教育課施設担当室	市民会館
32	(1)情報の周知、情報を得る方策への配慮	広報活動の推進(P38)	社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 東松戸地域館の開館に伴い、図書館パンフレットの作成・配布を行うなど図書館サービスの認知度向上のための積極的な活動を行った。 SNSを活用した広報活動として、Facebookを利用した。テーマ展示や、イベント等の周知に努めた。 	A	図書館	図書館
33	(1)情報の周知、情報を得る方策への配慮	広報活動の推進(P38)	社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。	<p>広報まつど・市ホームページ、各種SNSを活用した広報活動のほか、取材対応、写真・収蔵資料貸出など積極的な情報発信に努めた。また、NHK大河ドラマ「青天を衝け」に関連した対応・発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 収蔵写真等使用許可件数:104件(前年度58件) 戸定歴史館ホームページアクセス数:779,479件(前年度74,741件) 	A	戸定歴史館	戸定歴史館

基本目標2 市民を惹き付け、広く行き渡る情報提供・相談

No.	施策	事業名	事業内容	実施状況	定性評価	新	旧
34	(1)情報の周知、情報を得る方策への配慮	広報活動の推進(P38)	社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。	博物館の年間スケジュールを一覧できる「年間行事案内」、展覧会ポスター・チラシを作成して市内外の学校やその他の関係機関、鉄道会社の駅等に掲示・配布したり、マスコミに情報提供を行っている。また、21世紀の森と広場、博物館、森ホール21の3施設協働でパンフレットやポスターなどを作成し、一体となった広報活動を行った。 ・観覧者数 R3年度:常設展示[総合展示・主題展示]延べ18,636人、企画展示等 延べ19,160人 R2年度:常設展示[総合展示・主題展示]延べ12,389人、企画展示等 延べ12,353人	A	博物館	博物館
35	(1)情報の周知、情報を得る方策への配慮	まつどまなびいネット(P38) (松戸市生涯学習情報提供システム)	社会教育関係団体、自主企画団体、生涯学習支援ボランティア、家庭教育学級の情報を登録し、市民がこれらの情報を知ることによって、生涯学習活動への参加機会を広げ、生涯学習活動が更に活性化していくことを目指して開設するインターネット情報サイトの充実。社会教育関係団体等への操作方法を含めた研修を行い、「まつどまなびいネット」の利用促進を図る。 (まつどまなびいネット) http://www.matsudo-s-edu.jp	・アクセス数 R3:25,074件 R2:17,162件	A	社会教育課	生涯学習推進課
36	(1)情報の周知、情報を得る方策への配慮	図書館管理運営事業(P38) (再掲(P32))	従来の図書資料だけでなく、行政資料や各種団体が発行するパンフレットなどを含め、課題の解決に必要な情報を広く提供する。	・市民の自主的なレファレンスの一助となるよう、講座・展示に合わせた資料リストの作成・提供を行った。 ・松戸市および近隣市町村、および千葉県に関する行政資料を積極的に収集し、提供した。特に、松戸市に関する行政資料を配置する「市政情報コーナー」(本館3階、東松戸地域館)のさらなる充実を図り、その所蔵数の増加に努めた。 市政情報コーナー所蔵数 R3:830冊 R2:796冊	B	図書館	図書館
37	(1)情報の周知、情報を得る方策への配慮	行事内容に即した対象者への情報発信の強化(P38)	展覧会・講座・講演会等の行事について、目的・内容に合わせて、興味・関心をもつと想定される対象者を選定し、情報の発信・提供の強化を図る(学習資料展「昔の暮らし探検」:小学校への周知・校長会等でのPR、デイケアサービス等の福祉施設への広報など)。	博物館の魅力を伝えるため、博物館の様々な事業に関する情報提供を行った。 ・市長記者会見 R3年度:3回(館蔵資料展、企画展、こどもミュージアム) R2年度:3回(学習資料展、企画展、渋沢栄一関連企画) ・広報まつど R3年度:3回(館蔵資料展、企画展、こどもミュージアム) R2年度:3回(館蔵資料展 1回、企画展、渋沢栄一関連企画) ※講座・講演会は随時掲載 ・鉄道等公共交通機関の掲示 毎年展覧会ごとに掲示	A	博物館	博物館
38	(1)情報の周知、情報を得る方策への配慮	行事開催に伴うポスター掲示(P39)	教育施策の推進上有益と認められた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認められた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。	後援承認した行事のポスター掲示があった場合、市民センターや社会教育施設に提出を依頼し、当該行事の周知に努めた。 ・後援件数…10件 ・ポスター・チラシ提出…2件	B	教育総務課	教育企画課

基本目標2 市民を惹き付け、広く行き渡る情報提供・相談

No.	施策	事業名	事業内容	実施状況	定性評価	新	旧
39	(1)情報の周知、情報を得る方策への配慮	行事開催に伴うポスター掲示(P39)	教育施策の推進上有益と認められた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認められた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。	社会教育に関する情報が各市民に行き渡るよう、松戸市民に対する学習機会の提供になると認められた行事について、後援を行うとともに、社会教育施設等へのポスター掲出依頼を通じて後援行事の周知に努めた。 ・後援承認件数 R3:33件、R2:29件 ・ポスター配布件数 R3:10件、R2:8件	A	社会教育課	社会教育課
40	(1)情報の周知、情報を得る方策への配慮	行事開催に伴うポスター掲示(P39)	教育施策の推進上有益と認められた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認められた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。	掲示エリアのスペースも限られており、掲示にあたっては優先順位を考慮しながら掲示を行った。	A	社会教育課施設担当室	市民会館
41	(1)情報の周知、情報を得る方策への配慮	行事開催に伴うポスター掲示(P39)	教育施策の推進上有益と認められた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認められた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。	社会教育関係団体からの申請に基づいたポスター掲出 R3:22件(内共催0件) R2:12件(内共催0件)	B	社会教育課	生涯学習推進課
42	(1)情報の周知、情報を得る方策への配慮	行事開催に伴うポスター掲示(P39)	教育施策の推進上有益と認められた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認められた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。	主催団体及び関係課から依頼を受けたものについては、本館、地域館および市内18分館において、各館の掲示スペースの範囲内で掲示を行った。分館については、会計年度任用職員のみでの配置のため、予め市の共催、後援行事に関するものは掲示可とする旨を通知し、円滑な対応に努めた。	A	図書館	図書館
43	(1)情報の周知、情報を得る方策への配慮	行事開催に伴うポスター掲示(P39)	教育施策の推進上有益と認められた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認められた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。	教育施策の推進上有益と認められた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認められた行事(後援)等について、歴史館や戸定邸内にポスターやチラシの掲示を行った。	A	戸定歴史館	戸定歴史館
44	(1)情報の周知、情報を得る方策への配慮	行事開催に伴うポスター掲示(P39)	教育施策の推進上有益と認められた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認められた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。	教育施策の推進を図るため、博物館内においてポスター等の掲示を行った。	A	博物館	博物館

基本目標2 市民を惹き付け、広く行き渡る情報提供・相談

No.	施策	事業名	事業内容	実施状況	定性評価	新	旧
45	(2)ICTを活用した情報提供の促進	まつどまなびいネット(P39) (松戸市生涯学習情報提供システム)(再掲(P38))	社会教育関係団体、自主企画団体、生涯学習支援ボランティア、家庭教育学級の情報を登録し、市民がこれらの情報を知ることによって、生涯学習活動への参加機会を広げ、生涯学習活動が更に活性化していくことを目指して開設するインターネット情報サイトの充実。社会教育関係団体等への操作方法を含めた研修を行い、「まつどまなびいネット」の利用促進を図る。	「まつどまなびいネット」でできることをまとめたリーフレットを作成し、一層の利用促進を図った。	B	社会教育課	生涯学習推進課
46	(2)ICTを活用した情報提供の促進	図書館管理運営事業(情報化推進)(P39) (再掲(P32))	インターネットによる蔵書情報の公開、資料の予約、貸出し状況・予約状況の照会を行う。また、市民の調査研究等のため、市民が利用できるパソコンを整備し、インターネットや各種データベースの利用を図る。	・インターネットを利用した蔵書情報の公開、資料の予約、貸出し状況・予約状況の照会を安定して提供できるよう、必要な保守環境等を整えている。令和3年度は図書館システムのリプレイスにあわせて、東松戸地域館に自動貸出機などのICタグ関連機器を導入し、利便性の向上を図った。 ・東松戸地域館の開館に合わせてオンラインデータベースを拡充した。	A	図書館	図書館
47	(2)ICTを活用した情報提供の促進	デジタル美術館(P39)	松戸市教育委員会所蔵美術作品等に関する情報をいつでもどこでも見られるようにするため、松戸市ホームページ上に『デジタル美術館』を設ける。	松戸市教育委員会所蔵美術作品等に関する情報をいつでもどこでも見られるようにするため、「デジタル美術館」を設け、「松戸の作家の個展」や「松戸の作家の紹介講座」、松戸の作家の展覧会情報などを随時更新した。 ・「松戸の作家の個展」 ・「松戸の作家の紹介講座」 ・パートナー講座 2件「松戸ゆかりの画家、板倉鼎・須美子の作品と書簡」 ・板倉鼎・須美子作品寄贈について ・松戸の作家の展覧会情報 19件	B	文化財保存活用課	社会教育課

基本目標2 市民を惹き付け、広く行き渡る情報提供・相談

No.	施策	事業名	事業内容	実施状況	定性評価	新	旧
48	(3)学習相談体制の充実	社会教育活動に資する学習相談体制の充実(P40)	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。	文化財については、個人的な学習支援、市民からの依頼による出前講座、教員等から文化財に関わる授業の相談など実施した。集団での学習時では、講師を務め、学習を深める相談を受けるなどした。 ・パートナー講座実施回数 R3:3回 R2:1回 ・小学校授業(北部小学校、松飛台小学校)R3:1回 R1:1回 松戸ゆかりの美術作家に関する市民の興味・関心に応えるものとして、市民からの依頼による出前講座を設けている。 ・パートナー講座実施回数 R2:0回 R1:2回	B	文化財保存活用課	社会教育課
49	(3)学習相談体制の充実	社会教育活動に資する学習相談体制の充実(P40)	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。	学習支援専門員を配置し、小中学校等からの依頼を受け、主に美術関係の講座、授業補助のための講師派遣を行った。 ・R3:28件(小学校 25件、中学校 2件、その他 1件) ・R2:11件(小学校 9件、中学校 0件、その他 2件)	A	社会教育課	社会教育課
50	(3)学習相談体制の充実	社会教育活動に資する学習相談体制の充実(P40)	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。	新型コロナウイルス感染症による社会的な影響も含めて市民からの学習相談等が近年増えてきているため、相談体制のニーズが高まってきている。今後、生涯学習に関するボランティア育成など相談体制を強化していく。	C	社会教育課	生涯学習推進課
51	(3)学習相談体制の充実	社会教育活動に資する学習相談体制の充実(P40)	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。	・レファレンスに対応できる職員数の維持、経験年数の蓄積を図るため、引き続きレファレンス窓口のローテーション制を維持するとともに、能力の向上に努めた。 レファレンス窓口の担当者 R3:10名 R2:6名 レファレンス経験年数平均 R3:6.5年 R2:3.5年 ・レファレンスサービスの質向上のため、参考図書を積極的に収集するとともに、レファレンスサービスの提供について積極的な案内を行った。 レファレンス処理件数※ R3:8,739件 R2:2,895件 ※令和3年1月より、レファレンスの集計方法を変更。	A	図書館	図書館
52	(3)学習相談体制の充実	社会教育活動に資する学習相談体制の充実(P40)	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。	感染症対策に配慮しながら、市民が文化財に対する造詣を深められるよう、学芸員・学習支援専門員・ボランティアガイドを活用し、来館者への現場での解説や子どもにもわかりやすい紙芝居の実施等を行った。 また、学習支援専門員を中心に、市内小中学校の出前授業・校外学習の実施等、積極的な対応を図った。	A	戸定歴史館	戸定歴史館
53	(3)学習相談体制の充実	社会教育活動に資する学習相談体制の充実(P40)	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。	・市民からの対面・電話・メールによる学術的な相談への対応(学芸員)。 ・常設展示、企画展示、資料展示における展示解説および相談対応(学芸員)。 パートナー講座:R3年度3回、R2年度0回	A	博物館	博物館

基本目標2 市民を惹き付け、広く行き渡る情報提供・相談

No.	施策	事業名	事業内容	実施状況	定性評価	新	旧
54	(3)学習相談体制の充実	社会教育推進事業(P40) (社会教育指導員関係)	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。	社会教育指導員については、家庭教育力向上事業及び青少年会館での学びの支援の担当として事業の企画及び実施に携わった。	A	社会教育課	生涯学習推進課
55	(3)学習相談体制の充実	図書館管理運営事業(レファレンスサービス) <再掲(P32)>	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> レファレンスに対応できる職員数の維持、経験年数の蓄積を図るため、引き続きレファレンス窓口のローテーション制を維持するとともに、能力の向上に努めた。 レファレンス窓口の担当者 R3:10名 R2:6名 レファレンス経験年数平均 R3:6.5年 R2:3.5年 レファレンスサービスの質向上のため、参考図書を積極的に収集するとともに、レファレンスサービスの提供について積極的な案内を行った。 レファレンス処理件数※ R3:8,739件 R2:2,895件 ※令和3年1月より、レファレンスの集計方法を変更。 	A	図書館	図書館

基本目標3 学習者の学習成果を地域に生かす仕組みづくり

No.	施策	事業名	事業内容	実施状況	定性評価	新	旧
56	(1)地域の人材を発掘・育成し、活動を支援するシステムづくり	学習機会提供事業(P41) (自主企画活動支援)	【市民自主企画講座】 市民が自ら学んだ成果の発表の場として、生涯学習推進課と連携しながら市民自主企画講座を実施することで、共に学ぶボランティア活動促進につなげることを目的として開催する。また、テーマを持った市民同士のネットワークができるよう支援する。	市民が自ら学び継続して活動する学習グループの成果発表の場として市民自主企画講座を開催。 講座体系の見直しに伴い、基本目標1No1の「生涯学習講座」に統合	—	社会教育課	生涯学習推進課
57	(1)地域の人材を発掘・育成し、活動を支援するシステムづくり	市民文化活動支援事業(P41)	松戸市文化祭、美術展、書道展等社会教育関係団体の発表及び交流の場を提供することで、市民文化活動を支援する。	社会教育関係団体の発表及び交流の場を提供し、市民文化活動を支援した。 ・第55回松戸市美術展覧会 令和3年12月7日～12月19日(文化ホール) 出品点数:265点 来場者数:1,549人 ・第73回松戸市文化祭 →新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。 ・第48回松戸市書道展覧会 令和3年3月～(文化ホール) →新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。	B	社会教育課	生涯学習推進課
58	(1)地域の人材を発掘・育成し、活動を支援するシステムづくり	幼児・児童の読書普及事業(P41)	子どもの読書普及活動を行うボランティアを育成するための講座を開催する。	・おはなしボランティア研修会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催方法を書面開催、グループ別研修(対面)、ZOOM方式に分け、研修会を実施した。 R3:グループ別研修184回、対面全体研修11回、ZOOM全体研修11回 ・おはなしボランティア養成講座 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン方式にて実施した。 R3:6回(延参加者数29名)	A	図書館	図書館
59	(1)地域の人材を発掘・育成し、活動を支援するシステムづくり	文化振興財団運営費補助(P41)	松戸市の市民文化の創造に寄与することを目的に設立された公益財団法人松戸市文化振興財団に対して運営費を補助し、多くの舞台芸術鑑賞の機会を提供する。	公益財団法人松戸市文化振興財団に運営費を補助し、文化芸術活動を支援した。新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら主催事業を開催することにより、来場者数は前年比で上昇傾向が見られるため、引き続き松戸市の市民文化の創造、文化の振興に寄与することができた。 ・主催事業 R3年度 入場者数 3,933人(9公演) ※ピアノ試奏会 61人(各2回) ・主催事業 R2年度 910人(4公演) ※ピアノ試奏会、世界のピアノ弾き比べ体験会 53人(各3回)	A	社会教育課	社会教育課
60	(1)地域の人材を発掘・育成し、活動を支援するシステムづくり	まちづくり人材育成支援事業(P41)	地域の課題等を見つけ解決していく手法を学び、地域活動に積極的に関わるリーダーとなる人材の育成を行う。	松戸フューチャーセンター事業として、多様な人々が集まり未来志向の対話を通して課題の解決が図れる人材を育成するための講座を開催予定 講座体系の見直しに伴い、基本目標1No1の「生涯学習講座」に統合	—	社会教育課	生涯学習推進課
61	(1)地域の人材を発掘・育成し、活動を支援するシステムづくり	(仮称)社会教育実践研究発表・交流事業(P42)	社会教育関係団体等における社会教育活動の実践や研究成果について情報交換をするとともに、社会教育関係団体等のリーダーなどが相互に交流する「(仮称)社会教育実践研究発表・交流事業」のあり方を調査研究する。その成果と課題を踏まえながら事業の開催に努める。	生涯学習講座の受講生や市民自主企画団体、社会教育関係団体、これから学習や地域活動を始める多くの市民を対象に、成果発表、事例発表の場として「まつど生涯学習フォーラム」を開催する 講座体系の見直しに伴い、基本目標1No1の「生涯学習講座」に統合	—	社会教育課	生涯学習推進課

基本目標3 学習者の学習成果を地域に生かす仕組みづくり

No.	施策	事業名	事業内容	実施状況	定性評価	新	旧
62	(2)施設の整備及び施設連携や施設機能の活用方法の周知などによる利用促進	矢切公民館管理運営事業(P42)	社会教育関係団体をはじめとした市民の主体的な学習活動を支援する社会教育施設として、学習の場を提供する。	利用状況:1,735件[19,283人](内社会教育関係団体1,333件[13,117人]) 文化祭は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 【矢切公民館音楽祭】 令和4年2月13日(日)10:00~12:30 来場者136人 4団体出演	B	社会教育課	生涯学習推進課
63	(2)施設の整備及び施設連携や施設機能の活用方法の周知などによる利用促進	タウンスクール管理運営事業(P42)	市立根木内小学校内の余裕教室を「タウンスクール根木内」として、地域の学習活動等に提供する。	利用状況:329件[2,366人] (内社会教育関係団体11件[53人]) 老朽化に伴う外壁改修工事を行った。	B	社会教育課	生涯学習推進課
64	(2)施設の整備及び施設連携や施設機能の活用方法の周知などによる利用促進	青少年会館管理運営事業(P42)	市内青少年の健全育成と教養の向上を図るために設置した施設であり、仲間づくりの場や学習機会を提供する。	(実施内容) 青少年の体験や交流、学びの支援を行い青少年の健全育成を図る施設として学習機会の提供や安全安心かつ自由な居場所の提供を図る。 (実施状況) 施設の老朽化による修繕も継続的に発生しているが、その都度対応しているため利用ができなくなる等の状況には至っていない。 新型コロナウイルス感染症防止に伴う開館時間短縮等もあったが、利用者は増加した。 R3:利用件数・人数 本館:3,491件・42,767人/分館:728件・8,133人 R2:利用件数・人数 本館:2,489件・30,297人/分館:482件・5,916人	A	社会教育課	生涯学習推進課
65	(2)施設の整備及び施設連携や施設機能の活用方法の周知などによる利用促進	図書館管理運営事業(P42)(再掲(P32))	市民の暮らしに役立つ蔵書の充実を図るとともに、読む事の困難な方々への支援になる資料を整備する。また、市民の抱える課題の解決に資するため、レファレンスサービス等の充実を図る。	・小さい字に読みづらさを感じる方が不自由なく読書を行えるよう、大活字資料の収集を進めた。 大活字資料所蔵数 R3:2,672冊 R2:2,357冊 ・さまざまな外部研修への職員の派遣及びオンライン受講を行うことで、レファレンス能力等、職員の専門性の向上を図った。 職員受講研修数(庁内研修除く) R3:20回 R2:21回	A	図書館	図書館
66	(2)施設の整備及び施設連携や施設機能の活用方法の周知などによる利用促進	文化ホール管理運営事業(P42)	市民の学習の場として、多様な文化活動の発表の場のために設置した施設であり、更なる利用の促進を図る。	・美術展、書道展、写真展等の各種展覧会等の利用状況 文化ホール利用件数R3:34件 R2:18件 利用人員 R3:14,599人 R2:4,495人 新型コロナウイルス感染症拡大予防として、利用者に安心してご利用いただくため、「文化ホール感染拡大予防ガイドライン」を作成し、感染症対策に努めた。 また、令和3年6月より文化ホール内に個人や社会教育関係団体の生涯学習の学びを支える「学びのインフラ」として学習活動の場(生涯学習サロン)を提供した。 R3:利用件数2,038人	A	社会教育課	生涯学習推進課
67	(2)施設の整備及び施設連携や施設機能の活用方法の周知などによる利用促進	市民劇場管理運営事業(P43)	市民の芸術及び文化活動の場を提供するために設置した施設であり、さらに団体などの利用に供し、広く市民の活用の促進を図る。	管理運営面では、市民の利便性の向上を図るため、公益財団法人松戸市文化振興財団において、ホームページを適宜更新し、情報発信を行った。維持管理の面では、計画的な修繕や工事の実施により、市民が安全に利用できるよう努めた。令和3年度は劇場内に設置されている消火器が旧規格のものであったため、新規格のものを購入、交換を行った。 ・利用状況 R3年度 25,282人 (1,328件) ・利用状況 R2年度 13,370人 (917件)	A	社会教育課	社会教育課

基本目標3 学習者の学習成果を地域に生かす仕組みづくり

No.	施策	事業名	事業内容	実施状況	定性評価	新	旧
68	(2)施設の整備及び施設連携や施設機能の活用方法の周知などによる利用促進	市民会館管理運営事業(P43)	ホール、会議室、ながいき室及びプラネタリウム室等を備えており、市民に文化・芸術の振興、生涯学習の普及及び地域コミュニティの場を提供する。	令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策及び工事により、施設の使用制限を実施したため、施設使用者が減少した。また、施設の老朽化に対する計画的な修繕を行った。 ・ホール、会議室等 R3年度 32,282人 R2年度 43,570人、R元年度 169,484人 ・プラネタリウム R3年度 8,118人 R2年度 5,848人、R元年度 10,791人 ※R3 市民会館外壁改修工事を実施	A	社会教育課施設担当室	市民会館
69	(2)施設の整備及び施設連携や施設機能の活用方法の周知などによる利用促進	文化会館管理運営事業(森のホール21)(P43)	市民文化の振興及び市民福祉の増進を図るために設置した施設であり、芸術、文化の鑑賞、発表等の市民参加の場として、さらに人々の芸術文化活動を支援する。	管理運営面では、市民の利便性の向上を図るため、公益財団法人松戸市文化振興財団において、ホームページを適宜更新し、情報発信を行った。維持管理の面では、計画的な修繕や工事の実施により、市民が安全に利用できるよう努め、市民文化の振興及び市民福祉の増進を図るため、芸術、文化の鑑賞、発表等の市民参加の場としての利用に供することで、人々の芸術文化活動の支援を行った。そのほか、温水洗浄便座設置等を含む改修工事を前年度設計に基づき、全4期工事のうち第1期を施工、完了している。 ・利用状況 R3年度 177,785人 (2,538件) ・利用状況 R2年度 61,349人 (1,201件)	A	社会教育課	社会教育課
70	(2)施設の整備及び施設連携や施設機能の活用方法の周知などによる利用促進	松雲亭管理運営事業(P43)	茶室である松雲亭の利用促進を図り、社会教育施設として、茶道だけでなく、様々な文化的活動に対し、市民の文化的教養を深める機会及び学習の場を提供する。	感染症対策に配慮しながら、市民が文化財に対する造詣を深められるよう、学芸員・学習支援専門員・ボランティアガイドを活用し、来館者への現場での解説や子どもにもわかりやすい紙芝居の実施等を行った。 また、学習支援専門員を中心に、市内小中学校の出前授業・校外学習の実施等、積極的な対応を図った。	A	戸定歴史館	戸定歴史館
71	(2)施設の整備及び施設連携や施設機能の活用方法の周知などによる利用促進	博物館管理運営事業(P43)	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するために設置した施設であり、利用者が安全で快適な環境で学習できるよう更なる利用の促進を図る。	復元竪穴住居3棟のうち1棟を実施した。利用者が安全に利用してもらえるよう新型コロナウイルス感染拡大防止対策の徹底に取り組んだ。 ・博物館利用者数 R3年度(65,885人) R2年度(42,465人)	A	博物館	博物館
72	(2)施設の整備及び施設連携や施設機能の活用方法の周知などによる利用促進	シティ・ミニコンサート開催事業(P43)	松戸にゆかりの音楽家を市役所(市議会議場)に招き、毎月第3水曜日に定期コンサートを開催する。	第262回から第273回まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。	—	社会教育課	生涯学習推進課
73	(2)施設の整備及び施設連携や施設機能の活用方法の周知などによる利用促進	生涯学習センター計画事業(P43)	図書館整備計画と連携した、生涯学習センターの計画策定に着手する。	図書館機能を中核とする文化複合施設について、引き続き、関係部署と検討を行った。新拠点整備課により「新拠点ゾーン整備基本計画」が策定され、区画整理、庁舎機能に続く第3段階として、図書館機能を含む商業・業務・文化機能の整備が位置付けられた。	A	社会教育課	社会教育課

基本目標3 学習者の学習成果を地域に生かす仕組みづくり

No.	施策	事業名	事業内容	実施状況	定性評価	新	旧
74	(2)施設の整備及び施設連携や施設機能の活用方法の周知などによる利用促進	地域の居場所づくり促進事業(P43)	地域で人々が、気軽にあつまり、学習や交流、自作品の発表、囲碁・将棋、俳句・短歌など趣味や学習の成果を生かすことのできる場所として、地域の居場所づくりを支援する。	社会教育課所管の旧齋藤邸(松戸市紙敷)において、学習支援専門員による講座等を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響により、不特定多数の集客を見込む旧齋藤邸祭りは中止としたが、参加者数の制限や検温、消毒といった基本的な感染症対策を講じたうえで、造形講座や一部のコンサートを開催した。利用者数はコロナ前に比べては減少しているが、前年度よりは増加傾向が見られる。 ・利用者数 R3:599人(R2:318人)	A	社会教育課	社会教育課
75	(2)施設の整備及び施設連携や施設機能の活用方法の周知などによる利用促進	地域の居場所づくり促進事業(P43)	地域で人々が、気軽にあつまり、学習や交流、自作品の発表、囲碁・将棋、俳句・短歌など趣味や学習の成果を生かすことのできる場所として、地域の居場所づくりを支援する。 ・居場所づくりに関する調査・研究	生涯学習推進課所管の社会教育施設(5か所/矢切公民館、根木内タウンスクール、青少年会館・分館・文化ホール)の貸出施設において市民の学びの活動が行われているがR3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため利用制限等を実施した。 また、中高生の居場所事業として子どもわかもの課と連携し、週末に子どもたちが自由に過ごせるフリースペースを開放した。	B	社会教育課	生涯学習推進課
76	(2)施設の整備及び施設連携や施設機能の活用方法の周知などによる利用促進	地域の居場所づくり促進事業(P43)	地域で人々が、気軽にあつまり、学習や交流、自作品の発表、囲碁・将棋、俳句・短歌など趣味や学習の成果を生かすことのできる場所として、地域の居場所づくりを支援する。 ・居場所づくりに関する調査・研究	地域の中核を担う東松戸地域館をひがまつテラス1階に開館し、課題解決のための情報提供や調べ物のサポート(レファレンスサービス)を行う機能を整備した	B	図書館	図書館

基本目標3 学習者の学習成果を地域に生かす仕組みづくり

No.	施策	事業名	事業内容	実施状況	定性評価	新	旧
77	(3)学習意欲を喚起し、自己実現を実感できるステージへの誘導	学習機会提供事業(P44) (各種講座開催) (一部再掲(P32))	【ふるさと発見創造講座】 自らの生活課題や社会的課題に即した学習をはじめ、松戸の歴史・文化・環境などを調査研究しその成果をまとめ市民に伝えるなど、社会貢献活動にかかわる学習グループづくりを目指した学習機会を提供する。	〈実施内容〉 【ふるさと発見講座】 社会貢献活動に関わる学習グループづくりを目的とした講座の開催。 講座体系の見直しに伴い、基本目標1No1の「生涯学習講座」に統合	—	社会教育課	生涯学習推進課
78	(3)学習意欲を喚起し、自己実現を実感できるステージへの誘導	学習機会提供事業(P44) (自主企画活動支援)(再掲(P41))	【市民自主企画講座】 市民が自ら学んだ成果の発表の場として、生涯学習推進課と連携しながら市民自主企画講座を実施することで、共に学ぶボランティア活動促進につなげることを目的として開催する。また、テーマを持った市民同士のネットワークができるよう支援する。	〈実施内容〉 【市民自主企画講座】 市民の自主企画講座の開催。 講座体系の見直しに伴い、基本目標1No1の「生涯学習講座」に統合	—	社会教育課	生涯学習推進課
79	(3)学習意欲を喚起し、自己実現を実感できるステージへの誘導	学習機会提供事業(P44) (自主企画活動支援)(再掲(P41))	【生涯学習支援ボランティアバンク】 地域社会をよくするために、市民が主体となり学習した成果や自らの経験や知識を生かすことを目的とした生涯学習支援ボランティアバンクを設置し、学習支援の促進を図る。	〈実施内容〉 【生涯学習支援ボランティアバンク】 ボランティアの募集と登録及び紹介の実施。まつどまなびいネットや市ホームページに生涯学習支援ボランティア登録者の情報等を掲載し、利用促進を行った。 R2年度で利用件数減少のため事業終了。	—	社会教育課	生涯学習推進課
80	(3)学習意欲を喚起し、自己実現を実感できるステージへの誘導	博物館友の会支援・協働事業(P44)	【市民自主企画講座】 市民が自ら学んだ成果の発表の場として、生涯学習推進課と連携しながら市民自主企画講座を実施することで、共に学ぶボランティア活動促進につなげることを目的として開催する。また、テーマを持った市民同士のネットワークができるよう支援する。	社会教育団体である博物館友の会に学習の場と機会を提供し、協働で講座・講演会や体験教室等のイベントを実施した。※新型コロナウイルス感染拡大防止のため。中止や変更を行っている。 ・共催事業 R3年度 講演会(6講演・参加者計174名・人数制限80名→38名→50名) 体験教室(1事業・参加人数計148名) R2年度 講演会(3講演:参加者計100名・人数制限80名→38名) 体験教室(0事業※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	B	博物館	博物館
81	(3)学習意欲を喚起し、自己実現を実感できるステージへの誘導	成人式開会事業(P44)	「国民の祝日に関する法律」に定められた「成人の日」の趣旨である、「大人になったことを自覚し自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます」ため、新成人自らが企画運営する成人式を開催する。	本市の成人式は、新成人自らが企画運営する参加型学習機会の場としている。前年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、会場開催を見送り、オンライン開催のみとしたが、今年度は、検温、消毒、来場者情報の登録といった感染症対策を講じたうえで、オンラインを併用した会場開催とした。新成人スタッフが主体的にイベント企画、実践を通じて自己実現を図ることができた。 ・R3年度 対象者 4,681人 出席者数 3,027人 出席率 64.7% 累計動画視聴回数 3,682回 新成人スタッフ 13人 ・R2年度 対象者 5,094人 累計動画視聴回数 6,881回 新成人スタッフ 17人	A	社会教育課	社会教育課
82	(3)学習意欲を喚起し、自己実現を実感できるステージへの誘導	美術文化関係事業(P44) (地域美術振興支援)	松戸市在住・在勤美術家に作品発表の場を提供するとともに、情報を発信して地域の文化芸術活動の振興を支援する。	松戸市在住・在勤美術作家4人の活動を個展形式で市民に紹介する「松戸の作家の個展」を開催し、その情報を広く市内外に発信した。 ◆会場 :森のホール21アールスペース(エントランスホール) ◆開催期間:令和3年6月8日から令和4年3月21日(1回約2ヶ月間×4回) ◆参加作家:4人(須貝仁氏、土屋豊氏、渋谷良子氏、宮山広明氏)	B	文化財保存活用課	社会教育課

基本目標4 地域、学校、家庭が連携した青少年の学びの充実

No.	施策	事業名	事業内容	実施状況	定性評価	新	旧
83	(1)家庭教育の充実	家庭教育力向上事業(P45)(一部再掲(P34))	<p>家庭の教育力の向上を支援するため、幼児、小学生、中学生の保護者に学習機会を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級 ・幼児家庭教育学級講座 ・中学校家庭教育学級 ・市全体として家庭の教育力を支援する方策の研究 	<p>【家庭教育学級の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校家庭教育学級 小学生をもつ保護者同士が、家庭教育や家庭のあり方について、学校と連携をしながら学年の枠を越えて話し合い、交流し、豊かな人間関係づくりを基盤にして、自主的、集团的、継続的に学習する。小学校45校に設置 R3実績:45校開設、学級生770人 講座:全5回、延べ285人 ・MCR学級 家庭教育力向上のために、家庭教育のあり方について学んだり、自己の視野を広げたり高めたりすることができるような学習の場として小中学生の保護者を対象に実施。 R3実績:学級生130人 講座:全5回、延べ85人 市ホームページに「松戸市家庭教育学級の広場」を開設し、発達段階に応じた、「家庭教育学級だより」を発信した。 ・入学前幼児家庭教育学級講座 小学校に入学する児童の保護者が、小学校生活の準備について考えることを目的に開催 R3実績:全2回、延べ373人 ・中学校家庭教育学級 講座体系の見直しに伴い、基本目標1No1の「生涯学習講座」に統合 ・市全体として家庭の教育力向上支援する方策の研究 R3実績:川島隆太教授家庭教育講演会 延べ635名 パートナー講座:全6回、延べ206名 	A	社会教育課	生涯学習推進課

基本目標4 地域、学校、家庭が連携した青少年の学びの充実

No.	施策	事業名	事業内容	実施状況	定性評価	新	旧
84	(2)地域、学校、家庭の連携事業の促進	学校を核にした地域コミュニティづくり事業(P45) (学校支援地域連携)	地域全体で学校が行う教育活動を支援する仕組みを構築し、学校支援ボランティア等の地域教育力の育成・活用を進めることにより、開かれた学校づくりと学校支援を通じた地域の連帯感の形成を図る。	令和元年度に1学区を加えた3学区体制で、事業を実施している。既に定着している地域と学校との協働体制を強固なものとし、地域ボランティアがより活動しやすい環境整備に努めた。地域の個性・実情に合わせた取り組みがそれぞれの学区で行われている。	B	教育政策研究課	教育企画課
85	(2)地域、学校、家庭の連携事業の促進	幼児・児童の読書普及事業(P45) (再掲(P41))	ボランティアを支援し、家庭や学校と連携した、地域における子どもの読書活動の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、小学校での読み聞かせ準備講座をオンラインにて実施した。親子絵本講座は、Facebook上で情報提供を行い、保護者やボランティアの読み聞かせ活動の支援とした。 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校での読み聞かせ準備講座(4回) ・親子絵本講座 R3:Facebook上で連載を実施(10回) ・新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じておはなし会を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・市民センターおはなし会 36回 参加人数139人(子ども85人 大人54人) ・小さい子のためのおはなし会 70回 参加人数269人(子ども133人 大人136人) ・絵本はじめのい〜っぽおはなし会 27回 参加人数227人(子ども98人 大人129人) ・依頼おはなし会 7会場 40回 参加人数977人(子ども790人 大人187人) ・感染防止策を講じた上で、家庭教育学級や保育所等に講師を派遣し、本の選び方や読み聞かせの方法についての出前講座・パートナー講座を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・講師派遣 R3:2回 	A	図書館	図書館

基本目標4 地域、学校、家庭が連携した青少年の学びの充実

No.	施策	事業名	事業内容	実施状況	定性評価	新	旧
86	(3)多様な学習、体験活動の充実	青少年会館学習機会提供事業(P46)(再掲(P36))	<p>青少年が自ら、芸術、文化、スポーツにかかわり、自己表現を深め、学校外の学習を生き生きと取り組む機会を提供する。</p> <p>・青少年教室 ・青年講座</p>	<p>〈実施内容〉 ・青少年教室 青少年の自立を成長を育むことを目的として学校や家庭以外に文化やスポーツをはじめさまざまな体験や交流活動の機会を提供する。</p> <p>・青年講座 身近な課題を取り上げ、共に学習をすることで、出合いや仲間作りの機会を提供。</p> <p>〈実施状況〉 ・青少年教室 R3:37教室(コロナウイルス感染拡大防止より2教室中止) 延べ参加者数1,467名 R2:41教室(コロナウイルス感染拡大防止より12教室中止) 延べ参加者数 985名</p> <p>・青年講座 R3:実施なし(コロナウイルス感染拡大防止のため実施なし) R2:2講座(コロナウイルス感染拡大防止により1教室中止) 延べ参加者数 8名</p>	B	社会教育課	生涯学習推進課
87	(3)多様な学習、体験活動の充実	青少年活動支援事業(P46)(一部再掲(P34))	<p>青少年団体の成果発表と青少年会館利用者相互の交流の機会とするとともに、仲間づくり、社会的連帯感を高めていく機会とする。</p>	<p>〈実施内容〉 青少年の交流と体験の機会として子どもたちや青少年団体が一緒にイベントを企画し実施する。</p> <p>〈実施状況〉 ・文化祭&青年フェスティバル 青少年会館主催の講座や会館を利用する青少年団体等の成果発表を行うとともに、団体相互や地域の方との親睦を深め交流する機会とするため、文化祭&青年フェスティバルを毎年実施。 R2,3年度はコロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。</p> <p>・アートパフォーマンスまつり(芸術祭) 地域に根差した青少年の芸術活動を支援し、青少年が芸術に触れる機会とするため、アートパフォーマンスまつり(芸術祭)を毎年実施。 R1,2,3年度はコロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。</p> <p>・パフォーマンスデイ 青少年会館利用団体が成果発表を行う場を提供するために実施 来場者数:111名</p>	B	社会教育課	生涯学習推進課

基本目標4 地域、学校、家庭が連携した青少年の学びの充実

No.	施策	事業名	事業内容	実施状況	定性評価	新	旧
88	(4)青少年活動を支援する指導者養成に向けた学習機会の提供	青少年の社会教育活動支援事業(P46)	<p>青少年教育にかかわる指導者の養成と指導者の交流の機会を提供します。</p> <p>・子どもの心と体の発達を理解する講座</p>	<p>〈実施内容〉 青少年が自ら考え意見を表明する機会を創出するとともに青少年会館の活動に反映させる。</p> <p>〈実施状況〉 子どもに関わるNPOとの協働事業にて、子どもを対象とするイベントの企画、運営や、子どもと関わる際のコミュニケーションなどについて学ぶ講座を実施した。 ・子どもに関わる担い手育成事業 R3:「松戸青少年会館でやりたいを形に☆自由にPlan&Try!」 R2:「20XX年 ある銀河からの帰還～宇宙空間でのリモート通信で、未知なる謎を解き明かせ～」/「小学生対象イベント企画・運営」 R3: 1教室 全17回 受講者:延べ141名 R2: 2教室 全5回 受講者:延べ48名</p>	A	社会教育課	生涯学習推進課